

画像データ取得API

更新履歴

- 2017.8.24
 - お薬情報専用APIから、他の帳票（処方せん、お薬手帳のQRコードの取得）でも使用するようになったことに伴い、説明文の変更を行いました。

概要

- 帳票データに含まれるイメージIDより画像データの返却を行います。
- レスポンスはzipファイルをバイナリ形式で返却を行います。

URL

- /api01rv2/imagegetv2

リクエストサンプル

```
<data>
  <imagegetv2req type="record">
    <Image_ID type="string">2#620098801</Image_ID>
  </imagegetv2req>
</data>
```

リクエスト項目一覧

番号	項目名	内容	例
1	Image_ID	イメージID（帳票データに含まれるイメージID）	2#620098801

Rubyによるリクエストサンプルソース

- Rubyのバージョンが1.9.2以降の環境の場合、HTTPのバージョン指定を1.2に変更する必要があります。
- Rubyのバージョンを確認後、以下のように該当箇所を変更して下さい。
 - Ruby1.9.2以降の場合

```
Net::HTTP.version_1_2
```

- Ruby1.9.2以前の場合

```
Net::HTTP.version_1_1
```

- Rubyのバージョンが1.9.1以降の環境(日レセ4.8以降の環境)ではソースファイル内の文字コードの指定が必要になります。

サンプルソース内に以下の一行が記述されていることを確認して下さい。

```
# -*- coding: utf-8 -*-
```

サンプルスクリプト

- 事前にガスター錠（620098801）の薬剤登録情報マスタの登録を行ってください。
- 実行ディレクトリに画像データをダウンロードします。

sample_imagegetv2.rb

```
# coding : utf-8
require 'uri'
require 'net/http'
require 'zip'

IMAGE_DIR = '.'

SRYCD='620098801'
IMAGE_ID='2#620098801'

Net::HTTP.version_1_2
path = '/api01rv2/imagegetv2'
req = Net::HTTP::Post.new(path)
req.body = <<-EOF
<data>
  <imagegetv2req type="record">
    <Image_ID type="string">#{IMAGE_ID}</Image_ID>
  </imagegetv2req>
</data>
EOF
req.content_length = req.body.size
req.content_type = 'application/xml'
req.basic_auth('ormaster', 'ormaster')
Net::HTTP.start('localhost', '8000') do |http|
  res = http.request(req)
  unless res.code == '200'
    raise "http error:#{path} #{res.code}"
  end
end
```

```
end

zip_file = ["#{SRYCD}-", '.zip']
Tempfile.open(zip_file) do |f|
  f.write res.body
  f.flush
  Zip::File.open(f.path) do |zip|
    zip.extract(zip.first, "#{IMAGE_DIR}/#{zip.first.name}") { true }
  end
end
end
```